

「我は汝の神、主 汝をエジプトの地、その奴隷たる家より 導き出せし者なり」

神様はイスラエルを汝と呼んでくださいます。「わたしはあなたの神、主である」とおっしゃっておられます。我と汝との関係、それは人格的な関係を意味します。この世の創造主である神様によって、私たちは造られ、神様と人格的な交わりができる存在として選ばれています。ここで、汝はイスラエルの共同体、つまり神様に選ばれた群れを指す言葉であり、その中の個々の人格に向けられた言葉でもあります

天と地のすべての造り主神様の主権がはっきり示されています。神様ご自身の自由な選びによってイスラエルとの契約を結んでいるのです。高き方が低きところの人間と契約を結び、人間の歴史に関与してくださるのです。

「私はあなたの神である。主である」、とおっしゃる神様はどのようなお方であるかということ、イスラエルをエジプトの地、奴隷であったところから導き、出してくださった方であります。

奴隷の状態から解放してくださった方、絶望と死の束縛から、導きだしてくださった方です。ですから、十戒はそのような神様の愛と恵みに対する、感謝の応答として与えられているのです。生きておられる神様への信頼がなくては守ることができないのです。イスラエルの現実に、共に歩いて下さった神様の恵みと力を想起しながら、感謝をもって負っていく責務であるのです。

「わたしたちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死ぬのです。従って、生きるにしても、死ぬにしても、わたしたちは主のものです。(ローマ 14:8)」と、使徒パウロが言ったように、神様に選ばれ、捕らわれた者に、示された生き方が十戒です。

十戒は人間らしく生きる知恵であり、主によって自由を得た人の、主なる神様への自由な約束、義務であるのです。

*共に祈りましょう。

- ・「我は汝の神、主」と、私たちを選び、呼びかけてくださる神様に感謝しましょう。
- ・独り子イエスを通して、自由と真理の道に導き、出してくださった神様に感謝しましょう。
- ・「十戒」を心に留め、守って生きることができるよう、神様の御支えを祈りましょう。